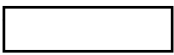


OPINION



6月から開始されたJICA(国際協力機構)によるアフリカ向け「企業経営者の経営能力向上」研修をとおして、私は日本文化を楽しみ、日本語の実用的な知識を身につけることができました。私が受講したこの研修コース

「ナビゲーター」

は、より人間的で親しみあるもので、途上国を支援するという責任感が感じられるものでした。弾力性に富み、より全体像を明らかにする経営ビジョンを示してくれました。名古屋駅近辺にあるJICA A中部の研修室での座学に加えて、多くの企業や団体を訪

日本への期待 世界各地から

其 64

アフリカと日本をつなぐ夢抱く

問しています。とりわけ広島への視察旅行は意義深いものでした。近代的な企業だけでなく、筆づくりという伝統的な産業を現代につなげる試みがなされていました。平和記念館への訪問はとりわけ記憶に残りました。自動車メーカーのマツダでは疲れて視察できなかつた研修員も、記念館では熱心に戦争の実態を、また2度とこのようなことが起きないようにする必要を深く心に刻みましました。

日本の管理手法をカメルーンへ

勤勉さと人に敬意を払うことの原則に加え、私が学んだ効果的な経営手法を紹介しました。トヨタ自動車の有力協力会社の1社(ティア1)で私が見学し、説明を受けた「道場」の事例は、驚くべきものでした。なぜ日本で決まりが守られるのか、どのように決まりを身につけさせるのかを理解することかできました。決まりやルールは作れば終わりではないことを知りました。私の目標は、アフリカの企業が決まりを明確にして、そ

さまを歓迎します。今回の研修は本当に良い機会であり、アフリカに将来の展望をもたらすものと期待しています。日本企業はよき手本であり、また共有を重ねることで、日本企業とアフリカ企業の具体的なパートナーシップにつながることを期待しています。私の会社A B P H Iが日本の化粧品ブランドの代理店となり、日本の新たな市場を開拓し、アフリカの女性たちが質の高い製品を手に入れられるようになることを、私は密かな夢として抱いています。

【マラ・アヤンマ・ヴァレリ、リーム中産連】
(月曜日に掲載)